

会社名： 東レインターナショナル株式会社

上場区分： 非上場

(URL <http://www.toray-intl.co.jp>)

本社所在都道府県： 東京都

代表者： 役職名 代表取締役社長 氏名 渡部 毅

問合せ先： 役職名 取締役経理部長 氏名 藤井 茂雄

TEL 06(6445)3619

中間決算取締役会開催日 平成17年10月28日

中間配当制度の有無： 有り

中間配当支払日 平成17年12月12日

1. 17年9月中間期の業績（平成17年4月1日～平成17年9月30日）

(1) 経営成績

(百万円未満四捨五入)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)
17年9月中間期	158,717 (8.8%)	1,701 (6.5%)	1,710 (-1.9%)
16年9月中間期	145,905 (22.3%)	1,596 (30.7%)	1,743 (59.6%)

	当期純利益 (百万円)	1株あたり当期 純利益 (円)	株主資本 中間純利益率 (%)	総資本 経常利益率 (%)	売上高 経常利益率 (%)
17年9月中間期	900 (-6.2%)	28,138	8.2%	2.0%	1.08%
16年9月中間期	960 (81.4%)	29,989	10.7%	2.2%	1.19%

(注) ①期中平均株式数 17年9月中間期 32,000株 16年9月中間 32,000株
17年3月期 32,000株

②会計処理の方法の変更 なし

③売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前年中間期増減率

(2) 配当状況

	1株当たり中間配当金 (円)	1株当たり年間配当金 (円)
17年9月中間期	4,000	
16年9月中間期	4,000	—
17年3月期	—	8,000

(3) 財政状態

	総資産 (百万円)	株主資本 (百万円)	株主資本比率 (%)	1株あたり 株主資本 (円)
17年9月中間期	86,606	10,974	12.7%	342,923
16年9月中間期	78,253	9,010	11.5%	281,573
17年3月期	82,744	10,153	12.3%	317,276

(注) 1. 期末発行済株式数 17年9月中間期 32,000株 16年9月中間 32,000株
17年3月期 32,000株

2. 18年3月期の業績予想（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり年間配当金 (円)	
					期末	
通期	319,300	3,400	3,300	1,800	4,000	8,000

(参考) 1株当たり予想当期純利益（通期）

56,250 円

3. 商品別売上高比率

部門	当中間期 (H17. 4. 1-H17. 9. 30)		前年中間期 (H16. 4. 1-H16. 9. 30)		増減金額	前期 (H16. 4. 1-H17. 3. 31)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		金額 (百万円)	構成比 (%)
ファイバー	17,677	11.1%	18,626	12.8%	▲949	37,523	12.6%
綿花羊毛	4,004	2.5%	5,498	3.8%	▲1,494	9,514	3.2%
テキスタイル	11,916	7.5%	14,144	9.7%	▲2,228	25,735	8.6%
アパレル	19,995	12.6%	18,047	12.4%	+1,948	38,656	13.0%
物資	5,057	3.2%	6,108	4.2%	▲1,051	12,156	4.1%
機材	14,562	9.2%	9,992	6.8%	+4,570	19,380	6.5%
情報機材	9,855	6.2%	12,396	8.5%	▲2,540	23,641	7.9%
ケミカル	47,781	30.1%	42,785	29.3%	+4,996	92,842	31.1%
プラスチック	27,871	17.6%	18,309	12.5%	+9,562	39,016	13.1%
合計	158,717	100.0%	145,905	100.0%	+12,812	298,463	100.0%

4. 形態別売上高比率

形態	当中間期 (H17. 4. 1-H17. 9. 30)		前年中間期 (H16. 4. 1-H16. 9. 30)		増減金額	前期 (H16. 4. 1-H17. 3. 31)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		金額 (百万円)	比率 (%)
輸出	61,559	38.8%	50,413	34.6%	+11,146	101,905	34.1%
三国間	18,673	11.8%	21,684	14.9%	▲3,011	42,124	14.1%
輸入	31,464	19.8%	26,626	18.2%	+4,838	58,592	19.6%
国内	47,021	29.6%	47,182	32.3%	▲161	95,842	32.1%
合計	158,717	100.0%	145,905	100.0%	+12,812	298,463	100.0%

平成18年3月期 中間

営業の概況

1. 営業の経過および成果

景気回復傾向の中、非繊維分野の拡大を主因に、全社の業績は好調に推移しました。繊維においては、アパレルOEM事業及び輸出テキスタイルが拡大しましたが、綿花・羊毛の価格下落及びスパandex分野での市況悪化等で、前年比6.0%の減収となりました。非繊維においては、設備投資プロジェクトの活発化に伴う機器売上の増加、炭素繊維の伸長や合繊原料価格の高止まり及びファインケミカル取扱拡大、又樹脂・フィルムの大幅な拡販により、前年比19.9%の増収となりました。

この結果、当期中間の売上高（実質売上高とインデント手数料収入の合計額）は前年比8.8%増の158,717百万円と増収(+12,812百万円)を実現することができました。

事業拡大に伴い、販売費及び一般管理費は前年比2.5%増加しましたが、粗利益が前年比3.7%増加するなど、利益の増加がこれを上回り、営業利益は前年比6.5%増の1,701百万円となりました。

2. 部門別の営業概況

[ファイバー]

衣料用途では、グローバルオペレーションのTSF輸出及びTFY, NFY輸入は前年比拡大し好調に推移したもののストレッチ素材の市況悪化で加工糸販売が減収、アクリルSFも靴下など市況悪く衣料関係は苦戦しました。一方産業資材では、欧米向けやタイ、インドネシア中心にカーシート用途やシートベルトなど自動車関連が順調に伸びスリング、モノフィラメントなど好調に推移し前年は上回りました。

以上の結果、売上高は前年比5.1%減の17,677百万円となりました。

[綿花・羊毛]

綿花は価格が前年同期に比べ35%程度下落し売上で大幅減収となりました。羊毛はウールトップの価格下落がありましたが、新規商内の取り込みや主要顧客との取引が順調に推移し売上は前年並みとなりました。

その結果、売上高は前年比27.2%減の4,004百万円となりました。

[テキスタイル]

洋装分野は、欧州向けが減少しましたが、中国を中心とするアジア、米国向けで資材関連などが増加しました。スポーツ分野もきめ細かな顧客対応により増加、また国内はニット資材やリンクルフリーシャツの縫製オペレーションが好調に推移しましたが社内組織再編に伴う他部への業務移管があり減収要因となりました。

この結果、テキスタイル全体では売上高は前年比15.8%減の11,916百万円となりました。

[アパレル]

大手SPA向け及びスポーツアパレル向けOEM事業が好調に推移しました。

社内組織再編による増収要因もあり、売上高は前年比10.8%増の19,995百万円となりました。

[物資]

皮革関係で原皮はブーツ市況低迷を受け前年比90%となりましたがウエットブルーの事業や靴を主体にした製品化を進めほぼ前年並をキープしました。インテリア関連はカーテン用途が苦戦しましたがタフトカーペット、段通・毛布などシルク製品、枕やマットレス等低反発ウレタン製品の拡販し社内組織再編による業務移管分を差し引くとほぼ前年並みとなりました。

以上の結果、当期の売上高は前年比17.2%減の5,057百万円となりました。

[機 材]

東レグループにおいて米国での炭素繊維事業やアジアを中心とする繊維高次加工事業及びフィルム事業での設備投資が活発化したため、プラント機器輸出が大きく伸びました。

以上の結果、売上高は前年比45.7%増の14,562百万円となりました。

[情報機材]

ディスプレイ市場の回復及び携帯電話の生産調整が一段落したこと等により電子回路材料、印写材料、PDP材料は堅調でしたが、カラーフィルターや家庭用浄水器が減少しました。新規開発商内として、ICタグ分野で業界初の新電波法準拠UHFタグ、リーダー機器の開発に成功し、実証試験向けにレンタル事業を開始しました。

この結果、売上高は前年比20.5%減の9,855百万円となりました。

[ケミカル]

原油高継続の影響を受けた合繊原料価格の高止まりにより売上高が増加したことに加え、ファインケミカル品の拡販も増収に寄与しました。また東レグループの炭素繊維事業拡大に伴い、海外東レグループ向け輸出オペレーションが伸びました。

以上の結果、売上高は前年比11.7%増の47,781百万円となりました。

[プラスチック]

フィルムではLCD市場の回復を受け、光学用が伸びたほか、高機能コンデンサー用などが拡大しました。また国内需要好調に伴う輸入オペレーションの伸びにより、売上を大幅に拡大しました。樹脂についてもアジア市場を中心に堅調な需要が継続していることに加え、東レグループの中国・香港向けの輸出商内の取扱一本化及び輸入・三国貿易への積極的な参画により売上を大幅に拡大しました。

以上の結果、売上高は前年比52.2%増の27,871百万円となりました。

以 上

損 益 計 算 書

(百万円未満四捨五入)

科 目	当中間期 (H17. 4. 1～ 17. 9. 30)	前年中間期 (H16. 4. 1～ 16. 9. 30)	増減金額	前 期 (H16. 4. 1～ 17. 3. 31)
	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高	158,717	145,905	12,812	298,463
売上原価	153,095	140,484	12,611	287,656
(売上総利益)	(5,622)	(5,420)	(202)	(10,807)
販売費及び一般管理費	3,921	3,824	97	7,219
営業利益	1,701	1,596	104	3,587
営業外収益	125	247	△ 122	486
受取利息・配当金	113	49	64	92
為替差益	—	192	△ 192	373
雑収	12	7	5	20
営業外費用	115	100	15	210
支払利息	54	45	10	95
為替差損	42	—	42	—
有形売却損失	4	23	△ 19	44
雑損	16	33	△ 18	71
経常利益	1,710	1,743	△ 33	3,863
特別利益	—	14	△ 14	14
償却債権取立益	—	14	△ 14	14
貸倒引当金戻入額	—	0	△ 0	—
特別損失	—	0	△ 0	9
固定資産除却損	—	0	△ 0	—
投資等評価損	—	—	—	9
税引前中間〔当期〕純利益	1,710	1,757	△ 47	3,868
法人税住民税及び事業税	-) 834	-) 848	-) △ 14	1,571
法人税等調整額	-) △ 25	-) △ 51	-) 26	85
中間〔当期〕純利益	900	960	△ 59	2,211
前期繰越利益	692	262	430	262
中間配当額	-) —	-) —	-) —	128
中間配当に伴う利益準備金積立	-) —	-) —	-) —	13
中間〔当期〕未処分利益	1,592	1,222	371	2,333

貸借対照表

(百万円未満四捨五入)

資 産 の 部				
科 目	当中間期末 (H17. 9. 30現在)	前 期 末 (H17. 3. 31現在)	増減金額	前年中間期末 (H16. 9. 30現在)
	百万円	百万円	百万円	百万円
資 産				
流 動 資 産	82,403	78,587	3,816	74,532
現金・預金	531	287	244	1,168
受取手形	12,547	10,020	2,527	9,611
短期掛貸付	51,574	48,177	3,397	45,309
商前払	122	122	—	25
短期費用債	14,639	12,824	1,815	13,456
前払税金	112	135	△ 23	99
前払消費税	597	1,202	△ 606	489
未収延税	300	3,325	△ 3,025	33
繰延税金	1,421	1,211	210	1,297
預け金	657	603	53	750
その他流動資産	29	668	△ 639	2,421
貸倒引当	352	264	87	322
	△ 477	△ 251	△ 225	△ 447
固 定 資 産	4,204	4,157	47	3,721
有 形 固 定 資 産	160	171	△ 11	194
建物	104	110	△ 6	116
車両運搬具	0	0	△ 0	0
器具	27	31	△ 4	49
土地	29	29	—	29
無 形 固 定 資 産	585	556	29	612
ソフトウェア	578	548	30	602
営業電	4	5	△ 2	7
話加入	3	3	—	3
投 資 等	3,459	3,430	29	2,915
投資有価証券	1,263	979	284	789
子会社株	3	3	—	3
長期貸付	74	77	△ 3	195
敷延税金	288	293	△ 5	294
繰延税金	95	157	△ 62	159
長期売却掛	2,157	2,349	△ 192	1,930
貸倒引当	200	183	17	194
	△ 620	△ 610	△ 11	△ 648
資 産 合 計	86,606	82,744	3,863	78,253

貸借対照表

(百万円未満四捨五入)

負債及び資本の部				
科 目	当中間期末 (H17.9.30現在)	前 期 末 (H17.3.31現在)	増減金額	前年中間期末 (H16.9.30現在)
	百万円	百万円	百万円	百万円
負 債				
流動負債	72,186	68,782	3,404	63,805
支払手形	1,831	2,226	△ 396	2,989
買掛金	55,004	51,183	3,821	48,879
短期借入金	8,383	8,499	△ 117	5,232
未払費用	259	288	△ 29	352
前払受金	3,106	2,854	252	2,810
未払法人税等	689	822	△ 133	447
繰延売上利益	939	1,216	△ 277	975
預り金	79	94	△ 14	85
賞与引当金	695	815	△ 119	1,225
クレジット引当金	291	248	43	269
その他の流動負債	124	99	25	143
	785	437	348	398
固定負債	3,447	3,809	△ 362	5,437
長期借入金	3,056	3,387	△ 331	4,990
長期預り金	253	264	△ 12	287
役員退職給与引当金	72	96	△ 25	78
退職給付引当金	66	62	5	82
負債合計	75,633	72,591	3,042	69,243
資 本				
資本金	1,600	1,600	—	1,600
利益剰余金				
利益準備金	269	256	13	243
別途積立金	7,440	5,940	1,500	5,940
当期未処分利益	1,592	2,333	△ 740	1,222
株式等評価差額金	72	24	48	5
資本合計	10,974	10,153	821	9,010
負債及び資本合計	86,606	82,744	3,863	78,253